月例会マニュアル

～幹部用～

1. **はじめに**

2011年9月から復活した弓道部月例会は部活のイベントである一方、

**・競技力の向上**

**・弓道に対する意識の向上**

**・部員同士の交流**　　　　　　　　　など様々な目的をもって開催されています。

これらを意識した会を作り上げ且つより良いものとしていくためには、ある一定の進め方を提示し皆が“弓道”および“他人や自分の射”に集中できる環境を作らなければなりません。このマニュアルをある程度の原則とし、改善の余地があればその都度良い方向に変えていきましょう!!

1. **使用場所**

**霞城**、**落合**の２ヶ所が使用候補として挙げられます。

⇒**落合を使うべき**でしょう。後述しますが、必ず座射を入れて3立以上弓を引くとなれば**霞城は参加人数18人以下**の場合しか時間的に使用することができません。落合の予約も1カ月前に行われることを考慮すれば“この月は絶対に人数が少ない！”と明言できない場合を除き落合になるはず…

**加えて、射会1週間前には出欠を副将が取り終わっている状態にして下さい！！**

1. **ルール**

**・**チームはくじで!!

**・**立数は**3ないし5立**。

　⇒これは部員の体力を考慮する一方で、あくまでも**参加人数による決定を原則**として下さい。日々の練習の成果を見る場でもあるわけですから“疲れる”“面倒”等の理由で貴重な立数を減らしたくはありません。

**・**最低限**座射を2立**は入れるように心がけましょう。

⇒これは弓道に対する意識を高める上でも減らさないこと!!こうすることで東医体、看学戦および審査の度に付け焼刃の練習をするムダも省けると考えられます。

・**会(～離れ)打起こしの徹底**

　　⇒座射の難しい所は行射のタイミングです。入退場に時間がかかるようでは話になりませんが、円滑な運行にはこれが肝心!!

　　また注意してもらいたいこととして、**大会での座射・審査の座射のいずれとも行射のタイミングが異なっている**ことがあげられます（大会では離れ打ち起こし、審査では離れ取懸け ですね）。別に用意したプリントを参照しておいてください。

1. **時間（想定・・・落合1サイクル3立 座射11~12分、立射6分）**

**＊時間は「射位へお進み下さい」(2チーム目以降は揖)から計測しての時間とします!!!**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予約時間なるべく短縮しましょう!!　　15~18時(3時間) | 5立(36人以下のみ可) | 3立 |
| 袴集合状態で落合到着15:00~15:1515:15~15:2515:30～～16:35～17:0017:00~17:4017:40~ | 準備開会式行射開始**座射**2サイクル**立射**1サイクル**立射**2サイクル決中（時間が足りないので決中に関与しない人は後片付けをしておいて下さい。） | 準備開会式行射開始**座射**2サイクル休憩(～17:00)(射込みしたい人は自由に使用してＯＫ)**立射**1サイクル(残り時間は決中後見合い稽古)後片付け |

・5立も3立も“**1サイクルが3立**”になるようなチームを組むとやりやすいハズ。但し、人数が少ない場合は2チームで休憩をとりつつやるのも良いかもしれません。

・月例会の中でも2月に1度は“遠的”のようなお楽しみイベントも予定していました。この場合、遠的射場の使用時間と外の明るさ、天候等を考慮しても9~12時ないし12~18時の6時間を予約しておくことが良いかと思われます。

・5立は運営側としては“時間との勝負”、部員としては“体力との勝負”の感じが強くなってきます。

●**遠的追加ver.　想定6人立チーム6チーム(遠的は1立:1手7分)**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予約時間12~18時(6時間) | 近的射場 | 遠的射場 |
| 私服集合12:00~12:2012:40~13:00～～14:3014:50～～16:00～16:10～17:30余った時間は射込みにはせず、各チームでの見合い稽古の時間とします!!先輩後輩・有段位関係なしに“必ず”意見を出し合い(←「特にありません」「・・・」は絶対にしないこと!!)、考え方や思ったことの表現力 指導力をつけていって下さい。 | 準備着替え開会式休憩(射込みしたい人は自由に使用してＯＫ)近的行射開始**座射**2サイクル休憩**立射**1サイクル閉会式＋後片付け | 準備**付け矢**※1本のみ行射開始1チームごとに!!⇒6立を2サイクル遠的終了遠的射場片づけ |

1. **開会式のながれ**
	1. 開式の言葉　　　　（主務）
	2. 拝礼“一礼一揖”　（主将）
	3. 主将挨拶
	4. チーム発表　　　　（副将）
	5. ルール説明　　　　（副将）

⇒「本月例社会は全日本弓道連盟競技規約にのっとり執り行います。行射上の注意として会打ち起こしの徹底をよろしくお願いします。また 円滑な競技進行のためにもそれぞれの仕事や入場までの準備等を素早く行っていただけますようご協力よろしくお願いいたします。」

* 1. 仕事説明　　　　　（副将）

⇒「仕事は前の立の人で分担して行ってください。1立目は最後の立のチームでよろしくお願いします。**下級生だけに任せることなく全員で協力して**行っていただけますようよろしくお願いいたします。」

遠的なしの場合は時間との勝負にもなりますので、仕事や行動に関しては強調しておきたいものです。

（⑦ 閉式の言葉は行わなくてもOK）

1. **閉会式のながれ**
	1. 開式の言葉　　　　（主務）
	2. 表彰　　　　　　　（副将）

⇒「団体優勝～、個人優勝～」

* 1. 拝礼“一礼一揖”　（主将）

（閉式の言葉）

* 1. 諸連絡
1. **準備する道具**

□弓矢

□的（ビニ×14 ⇒部室にあります ”２６８：フロヤ”）

□でら棒（部室）

□道具箱

□くじ（部員名簿を切るなりなんなりして作って下さい…）

□記録用紙

□トロフィー

□リボン（優賞者の名前を記入するために必要となります）

□ご飯を食べる場所